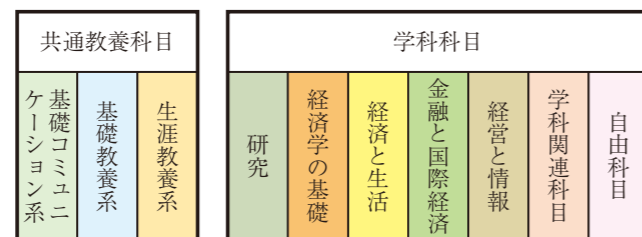
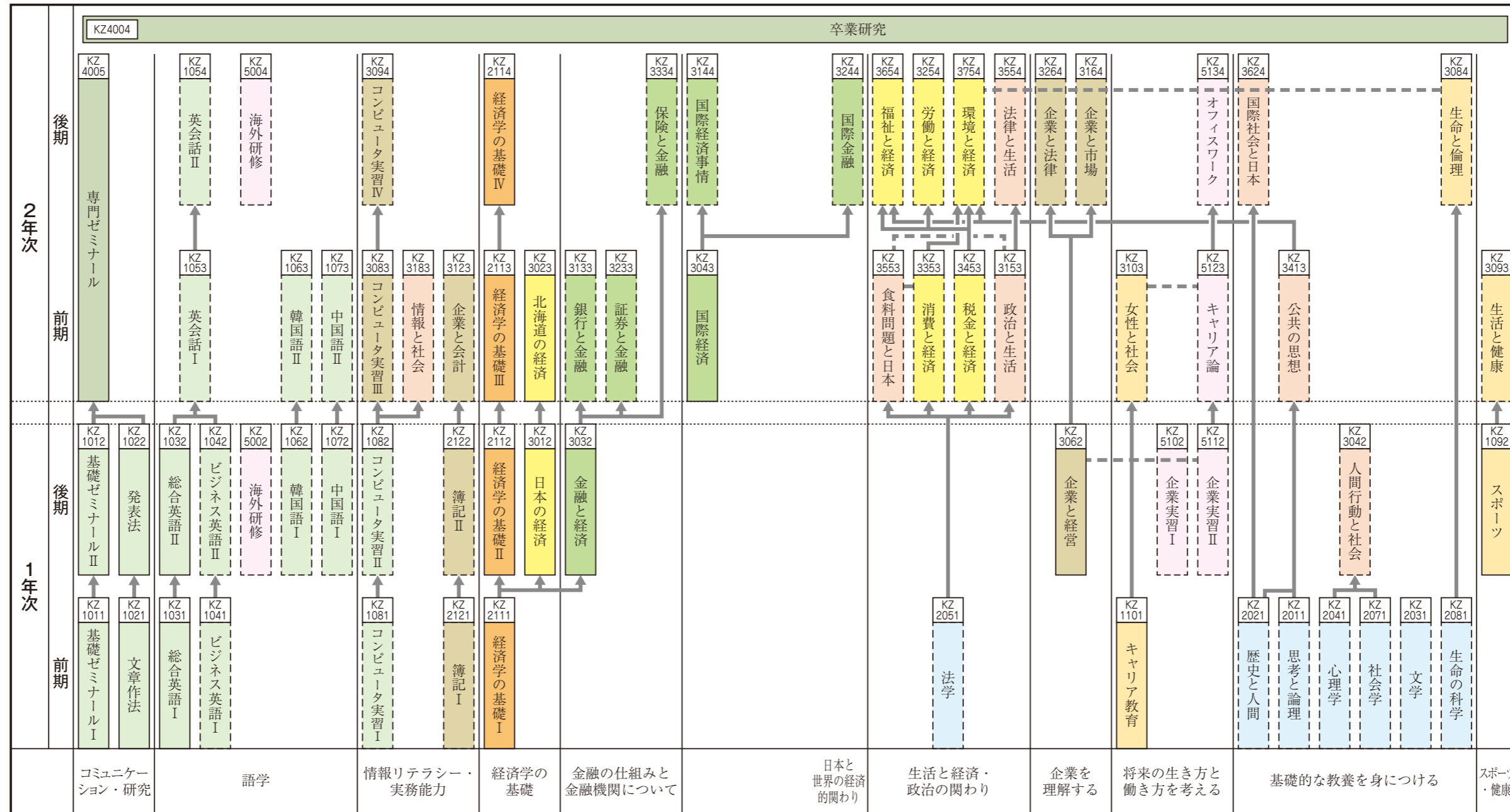


カリキュラムマップ (履修系統図)



科目の囲み線
 □ 必修
 □ 選択(選択必修含む)

ナンバリングについて

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序をあらわし、教育課程の体系性を示す仕組みです。

K Z 1 1 1 1
 ↑ ↑
 学科名を示す 1000台：初年次の科目・導入科目
 (経：経済学科) 2000台：学問の基礎となる科目・専門の基礎となる科目
 3000台：専門の科目、教育理念を基にした科目
 4000台：研究(専門ゼミナール・卒業研究)
 5000台：自由科目

下一桁
 1：1年前期
 2：1年後期
 3：2年前期
 4：2年後期
 5：通年

卒業認定学位授与
 教育課程

経済学科卒業要件履修単位数

・経済学科を卒業するためには、定められた科目系列別単位数の条件を満たしながら、68単位以上を履修しなければなりません。その系列別単位数は、まず大きく「共通教養科目」系列の23単位と「学科科目」系列の45単位とに分けられています。

卒業要件単位	68単位以上	共通教養科目……………23単位以上 学 科 科 目……………45単位以上 ※学科科目のうち、自由科目の単位は卒業要件に含まれない。
--------	--------	---

・共通教養科目は、次のように構成されています。

共通教養科目	23単位以上	基礎コミュニケーション系……………10単位（必修・選択必修）以上 基礎教養系……………8単位（選択必修）以上 生涯教養系……………5単位（必修・選択必修）以上
--------	--------	---

・学科科目は、「研究」、「経済学の基礎」、「経済と生活」、「金融と国際経済」、「経営と情報」、「学科関連科目」、「自由科目」からなります。ただし、「自由科目」は、卒業要件単位には算入されません。

学 科 科 目	45単位以上	研 究……………3単位（必修） 経済学の基礎……………8単位（必修） 経済と生活……………4単位（必修） 金融と国際経済……………4単位（必修） 経営と情報……………2単位（必修） 上記系列からの選択必修……………16単位（選択必修）以上 ※〈経済と生活〉、〈金融と国際経済〉、〈経営と情報〉の 3系列全体の選択科目の中から16単位以上選択必修 学科関連科目……………8単位（選択必修）以上 自 由 科 目……………8単位（選択）
---------	--------	--

*各系列の授業科目は、上の（ ）内に示したように、「必修」、「選択必修」、「選択」に分かれています。

必修 — 必ず履修しなければならない科目。

選択必修 — 系列の規定単位数に従って、所定の複数科目から選択して履修しなければならない科目。

選択 — 学生各自の意思により履修をきめることができる科目。

履修登録においては、この区分をよく理解しておくことが肝要です。

経済学科開講科目表

(1) 共通教養科目

系列	科目	単位数	1年		2年		備考	摘要	学位授与の方針 (KDP)					
			前期	後期	前期	後期			建学の精神に基づき「教養」を 涵養する科目の方針					
									KDP1	KDP2	KDP3	KDP4	KDP5	
共通教養科目	基礎 コミュニ ケーション系	基礎ゼミナールⅠ (レポート演習)	1	○					6 単位必修	○	○		○	○
		基礎ゼミナールⅡ (発表演習)	1		○					○	○	○		○
		文章作法	1	○				隔週授業		○	○			○
		発表法	1		○			隔週授業		○		○		○
		総合英語Ⅰ	1	○						○		○		
		総合英語Ⅱ	1		○					○		○		
		ビジネス英語Ⅰ	1	○				卒業要件とする 場合は2科目修得		○		○	○	
		ビジネス英語Ⅱ	1		○					○		○	○	
		英会話Ⅰ	1			○		卒業要件とする 場合は2科目修得		○		○		○
		英会話Ⅱ	1				○			○		○		○
		韓国語Ⅰ	1		○			卒業要件とする 場合は2科目修得		○		○		○
		韓国語Ⅱ	1			○				○		○		○
		中国語Ⅰ	1		○			卒業要件とする 場合は2科目修得		○		○		○
		中国語Ⅱ	1			○				○		○		○
	コンピュータ実習Ⅰ	1	○				卒業要件とする 場合は2科目修得		○	○		○		
	コンピュータ実習Ⅱ	1		○					○	○		○		
	基礎 教養系	思考と論理	2	○						○	○	○		
		歴史と人間	2	○						○	○			○
		文学	2	○						○	○		○	○
		心理学	2	○						○	○			○
		法学	2	○						○			○	○
		社会学	2	○						○				○
	生涯 教養系	スポーツ	1		○				1 単位必修	○		○		○
キャリア教育		2	○					2 単位必修	○		○	○	○	
生命と倫理		2				○			○	○			○	
女性と社会		2			○			1 科目2単位 以上選択必修		○	○		○	
生活と健康		2			○				○	○			○	
小計 (共通教養科目)			23 単位以上											

(2) 経済学科科目

系列	科目	単位数	1年		2年		備考	摘要	学位授与の方針 (DP)							
			前期	後期	前期	後期			経済学科の方針							
									KDP1	KDP2	KDP3	KDP4	KDP5	KDP6	KDP7	
研究	専門ゼミナール	2			○			3単位必修	(シラバス参照)							
	卒業研究	1				○										
経済学の基礎	経済学の基礎Ⅰ	2	○					8単位必修	○		○		○			
	経済学の基礎Ⅱ	2		○					○		○		○			
	経済学の基礎Ⅲ	2			○				○		○		○			
	経済学の基礎Ⅳ	2				○			○		○		○			
経済と生活	日本の経済	2		○				4単位必修	○	○			○			
	北海道の経済	2			○				○	○		○				
	消費と経済	2			○			選択	○	○		○				
	税金と経済	2			○				○	○						○
	労働と経済	2				○			○				○			
	福祉と経済	2				○			○	○						○
環境と経済	2				○			○	○		○					
金融と国際経済	金融と経済	2		○				2単位必修	○	○		○				
	銀行と金融	2			○				○	○						○
	証券と金融	2			○			選択	○	○						○
	保険と金融	2				○			○	○						○
	国際経済	2			○			2単位必修	○	○						
	国際経済事情	2				○			○	○		○				○
国際金融	2				○			○	○			○				
経営と情報	企業と経営	2		○				2単位必修	○		○		○	○		
	簿記Ⅰ	2	○						○					○	○	
	簿記Ⅱ	2		○				選択	○					○	○	
	企業と会計	2			○				○			○		○	○	
	企業と市場	2				○			○				○	○		
	企業と法律	2				○			○			○		○		
	コンピュータ実習Ⅲ	1			○				○	○		○		○	○	
コンピュータ実習Ⅳ	1				○		○	○		○						
上記学科科目の中から必修科目を除く必要単位							16単位以上選択必修									
学科関連科目	人間行動と社会	2		○				8単位以上 選択必修	○	○			○			
	公共の思想	2			○				○	○						
	政治と生活	2			○				○	○		○	○			
	法律と生活	2				○			○	○			○			
	情報と社会	2			○				○	○		○	○			
	食料問題と日本	2			○				○				○			
国際社会と日本	2				○			○	○			○				
自由科目	海外研修	2		○		○		選択(卒業要件には算入しない)	○		○	○	○			
	企業研究プログラム	6	(詳細は次ページに掲載)				(次ページ参照)									
小計(学科科目)								45単位以上								
合計(卒業要件単位)								68単位以上								